PCW-1289B(13090)

施工説明書

サティス E タイプ 機能部

DV-E115 型　　DV-E114 型

この度は当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意	●この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。 ●施工後は必ず試運転を行ってください。

施工業者さまへ

お客さまに必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。
保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客さまにお渡しください。
なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に貼り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。
お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。
※ 所有者登録の際、便フタ裏または製品本体に貼ってあるシールが必要となります。決してはがさないでください。
※ 定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

施工手順

1. 便器の取付け
↓
2. 止水栓の取付け
↓
3. 機能部の取付け
↓
4. 給水ホースの取付け〈機能部側〉
↓
5. 給水ホースの取付け〈止水栓側〉
↓
6. 電源の接続
↓
7. リモコンの位置決め・取付け
↓
8. 試運転

商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで
ナビダイヤル　TEL 0570-017-173
受付時間　平日 9:00 ～ 18:00　土･日･祝日 9:00 ～ 17:00(ゴールデンウィーク･夏期･年末年始の休みは除く)

安全のために守ってください！

シャワートイレを安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

警告 … 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意 … 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

⚠ 警告

- 施工説明書に従い、正しく施工する。
  ※ 感電・火災・ケガの原因になります。
  ※ 漏水し、室内浸水の原因になります。
- 分解や改造は絶対に行わない。
  ※ 感電・火災・ケガの原因になります。
- ぬれた手で、電源プラグを抜き差しない。
  ※ 感電の恐れがあります。
- 電源プラグの抜き差しはプラグ本体を持って行う。
  ※ コード部を持って抜差しを行うとプラグやコードが破損し、感電や火災の恐れがあります。
- 本体や電源プラグに水や洗剤をかけない。
  ※ 感電・火災の原因になります。
- ●AC100V 以外では使用しない。
  ●タコ足配線はしない。
  ※ 感電・火災の原因になります。
- 電源プラグは根元まで十分差し込む。
  ※ 感電・火災の恐れがあります。
- 電源コードにキズを付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない。
  ※ 電源コードが破損し、感電・火災の恐れがあります。
- ガタついているコンセントやアースターミナル付接地極付以外のコンセントは使用しない。
  ※ 感電・火災の原因になります。
- アース線はコンセントのアースターミナルへ確実に接続する。
  ※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。
  ※ アースの接続は、電気工事店にご相談ください。
- バスルームなどの湿気の多い場所には設置しない。
  ※ 感電・火災の原因になります。
- 水道水以外に接続しない。
  ※ 機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。

⚠ 注意

- 製品を接続する前に、必ず配管中の異物･サビなどを洗い流す。
  ※ 製品内部を傷めて漏水し、室内浸水の原因になります。
- ●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉め、便器洗浄操作を行う。
  ●ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり閉める。
  ●ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。
  ※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。
- 止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行う。
  ※ 漏水し、室内浸水の原因になります。
- お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておく。
  ※ 凍結破損により漏水し、室内浸水の原因になります。
  ※ 凍結破損により火災の原因になります。

電源の確認

配線工事およびコンセントの設置は、下記に準じた工事を行ってください。**配線工事は電気工事店にご依頼ください。**

- コンセントは **AC100V、定格消費電力 350 W**に適した**アースターミナル付接地極付コンセント**を使用してください。
  すでにアースターミナルのない接地極付コンセントや接地極付ではないコンセントが施設されている場合は、アースターミナル付接地極付コンセントに変更してください。また、ヒーター付便器や他の電化製品と併用する場合は、数に応じたコンセントを設置してください。
- **定格消費電力に適した配線を行ってください。**
- **必ずアースターミナルは、D 種接地工事に準じた工事を行ってください。**
  アースターミナルには、確実にシャワートイレのアース線を接続してください。
- コンセントはコード類の届く範囲で、床面より高く水のかからない位置に設置してください。電源コードおよびアース線の長さは 1.0m です。
- **必ず漏電遮断器を設置してください。**
  シャワートイレの電源には漏電遮断器が必要です。家屋に漏電遮断器がない場合、必ず最大定格を考慮した最適な漏電遮断器（高速・高感度型〔感度電流 15mA 以下、動作時間 0.1 秒以内〕）を設置してください。
  ※ 施工が完了するまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。故障する恐れがあります。

使用する水は？

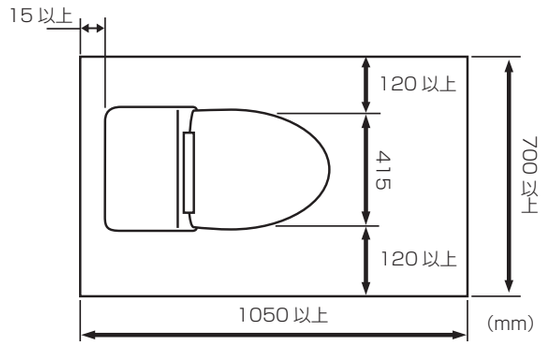
- 給水は必ず水道水に接続してください。
  中水道や工業用水、井戸水などを使用すると電気部品や機械部品の耐久性が低下して、事故の原因となります。
- 水圧判定には、専用治具 (CWA-234) をお使いください。
  他の器具を同時使用した場合でも 0.07MPa 以上 0.75MPa 以下の給水圧力が必要です。この最低水圧に満たない場合には、十分な洗浄機能が得られない場合があります。
- **下記の必要水圧対応表を参照ください。**

		低流動圧対応 ブースター無	低流動圧対応 ブースター (※) 付
給水圧力	静水圧		0.15MPa 以上
	流動圧	0.07MPa （17L/ 分）以上	0.05MPa （13L/ 分）以上

※ 給水圧力が満たない場合は、オプション品：低流動圧対応ブースター（品番：CWA-237）をご使用ください。
※ 低流動圧対応ブースターを取り付ける場合、CWA-237 に同梱されている説明書をご確認ください。
- 給水管が呼び径 13 未満の場合、十分な洗浄機能が得られない可能性があります。給水管呼び径 13 以上の配管を使用してください。

必要なスペースは？

必要なトイレスペースは下図のとおりです。



機能部を設置する前に

機能部は、便器を設置してから施工してください。

機能部を床に置かない

機能部を床に置くことは、絶対にしないでください。
※ 取付ボルト・機能部給水口が折れる恐れがあります。

リモコンの取付位置は？

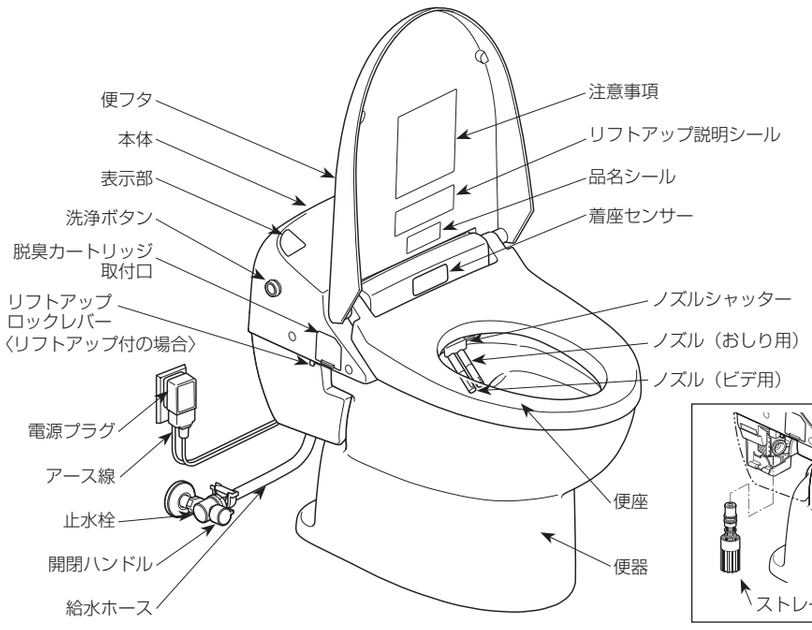
リモコンはできる限り、リモコン受光部側の壁（左側）に取り付けてください。

左側の壁にリモコンを取り付ける場合

右側の壁にリモコンを取り付ける場合

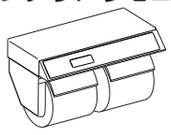
必要上、反対側の壁に取り付ける場合は、必ず取付位置で受信することを確認してから行ってください。
また、リモコン受光部側の壁が洗面台などで便器から距離がある場合は、受信しない場合があります。このようなときは便器中心から 1300mm 以内に信号反射用のスクリーンを設置してください。
スクリーンの寸法は高さ 1100mm 以上、幅はリモコン受光部からリモコン設置位置まで (W) を確保してください。（ただし、壁の仕上げ・色（特に黒っぽい色）などにより受信条件が悪くなる場合がありますので、ご注意ください。）

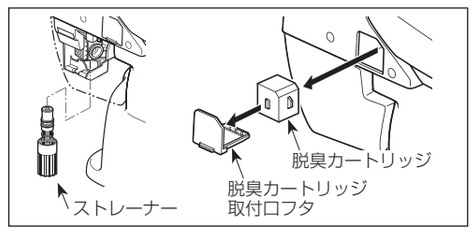
各部のなまえ



壁リモコン

インテリアリモコン

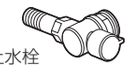




同梱部品の確認

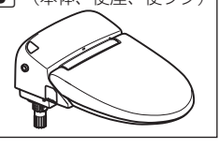
□内の数字は施工手順の番号を示しています。

2 ワン座



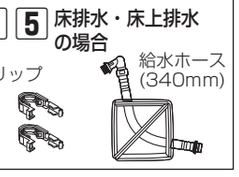
止水栓

3 機能部（本体、便座、便フタ）



3 平パッキン
ワッシャー
スプリングワッシャー
六角ナット
工具

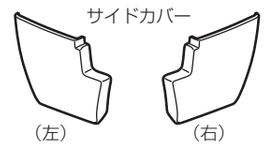
4 **5** 床排水・床上排水の場合
クリップ
給水ホース (340mm)



5 リトイレ・床上排水 155 タイプの場合
エルボ
ロングサイズ給水ホース (900mm)
クリップ

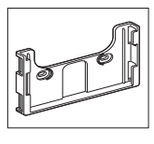
※リトイレ給排水統合タイプ (-HY) には給水ホース・エルボが同梱されておりません。
別売品の専用ホースを手配してください。

5
サイドカバー

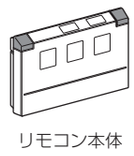


リモコンは下記のいずれかが同梱されます。

7 壁リモコンの場合



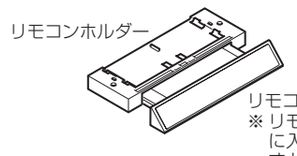
ホルダー
※ ホルダーは本体裏面に付いた状態ですが、スライドさせると外せます。



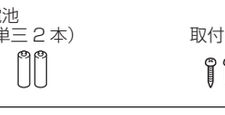
リモコン本体

電池（単三２本）
木ねじ
プラスチックアンカー

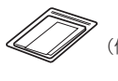
7 インテリアリモコンの場合
※ 別売品の棚付二連紙巻器などが必要です。



電池（単三２本）
取付ねじ



※ 脱臭カートリッジは、機能部に組み込まれています。
※ 壁リモコン以外のリモコンには専用の施工説明書が同梱されています。合わせてご確認ください。



説明書セット
（便フタ裏に貼ってあります）

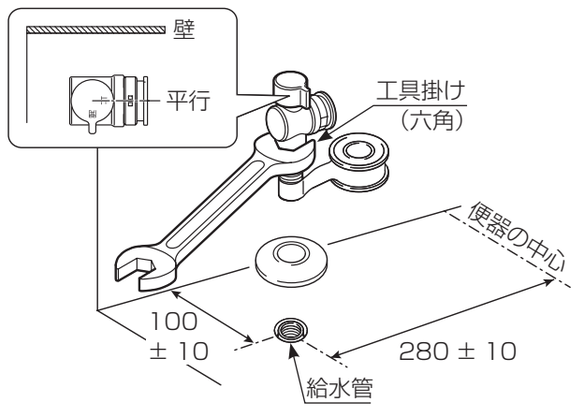
1 便器の取付け

1. 便器に同梱されている専用の施工説明書にしたがって、便器を取り付ける。

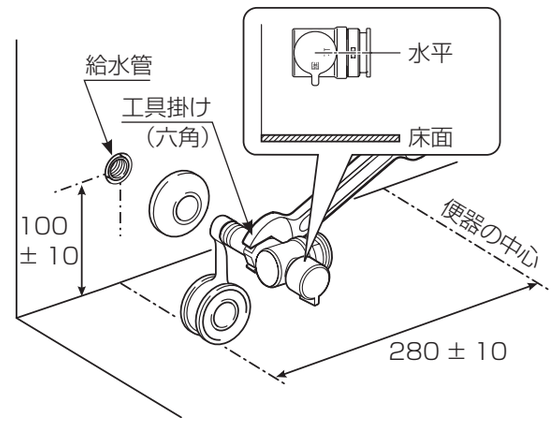
2 止水栓の取付け【注意 2-1 参照】【注意 2-3 参照】

1. 給水管に止水栓を取り付ける。
壁・床仕上げ完了後に行ってください。
ねじ部にシールテープなどのシール材を取り付けてください。
※バルブ本体の工具掛け部（六角）に工具を掛け、しっかりと締め付けてください。**【注意 2-2 参照】**
床給水の場合 ･･･ 給水口は壁面に対して平行に取り付けます。
壁給水の場合 ･･･ 給水口は床面に対して水平に取り付けます。
※止水栓は閉じたまま施工してください。
※止水栓を取り付ける給水管の位置が、フロアライン（FL）、またはウォールライン（WL）より -5mm 以上沈んだ場合、給水ホースが取り付けられない可能性があります。

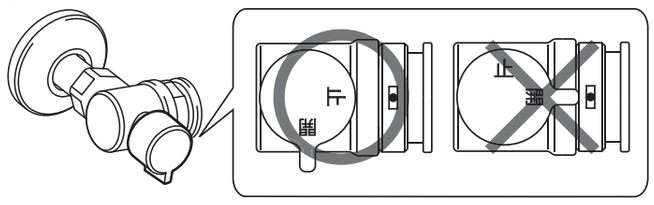
〈床給水の場合〉



〈壁給水の場合〉

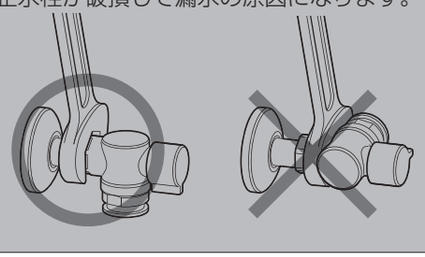


2. 開閉ハンドルが閉じていることを確認する。



【注意 2-1】
- **止水栓に手をかけたり、踏んだりしない。**
※配管がグラついたり、止水栓が破損して漏水の原因になります。
※壁や床を傷める恐れがあります。
- **止水栓の給水口は、給水ホースが折れないように取り付ける。**
- **給水位置が右給水の場合は、長さ 620mm の給水ホース（A-8376-62）を別途手配する。**

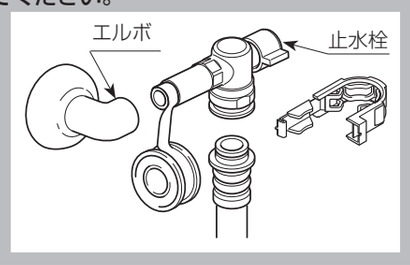
【注意 2-2】
- **工具は必ず工具掛け部（六角）に掛ける。**
※止水栓が破損して漏水の原因になります。

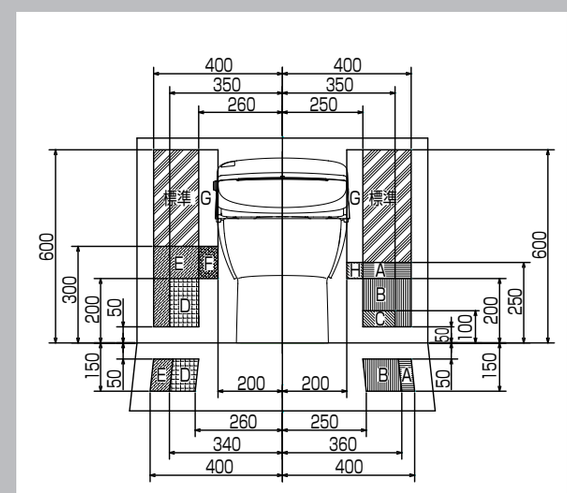


【注意 2-3】

《リトイレの場合》
- 給水位置が「A ～ H」以外の場合は取り付けできません。
- 給水位置が「F ～ H」の場合は、便器を 70 mm 前に出して施工してください。
（この場合、排水芯は 270 mm以上になります。）
- サティス E タイプリトイレには、長さ 900mm の給水ホースが同梱されております。

《F ～ H 部に取り付ける場合》
- エルボを給水口に取り付けてから止水栓を取り付けてください。



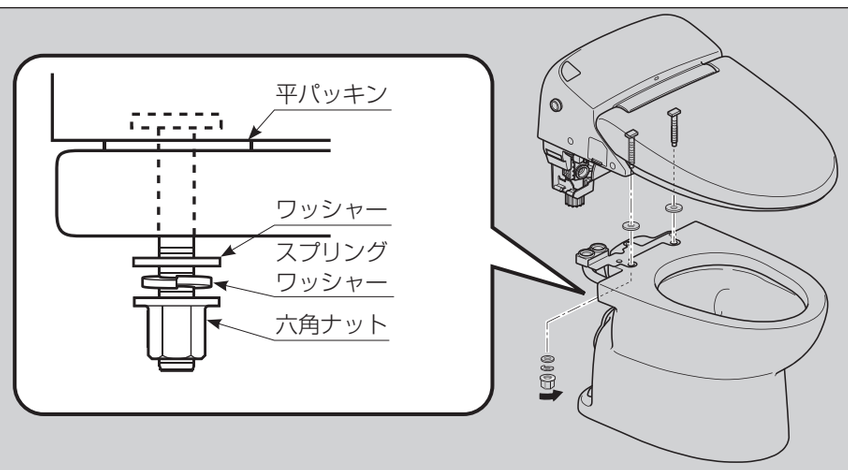


給水位置		給水ホース品番	ホース長さ
壁給水	標準	A-8376-90	900mm
	A	A-8376-68	680mm
	B	A-8376-58	580mm
	C	A-8376-54	540mm
	D	A-8376-40	400mm
	E	A-8376-49	490mm
	F ※	A-8376-49	490mm
	G ※	A-8376-90	900mm
	H ※	A-8376-68	680mm
床給水	A	A-8376-68	680mm
	B	A-8376-58	580mm
	D	A-8376-40	400mm
	E	A-8376-49	490mm

※便器を 70 mm前出し。

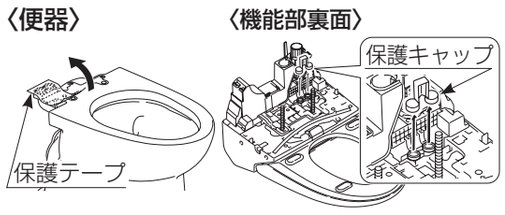
3 機能部の取付け

取付図

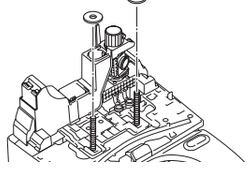


1. 保護キャップ、保護テープを外す。
【注意 3-1 参照】

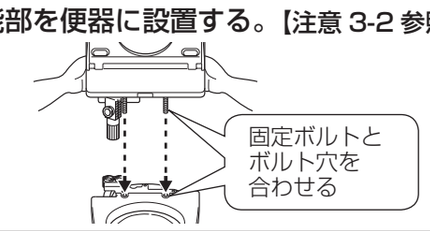
〈便器〉 〈機能部裏面〉



2. 平パッキンを固定ボルトに取り付ける。
- 本体カバーにキズがつかないように取り付けてください。



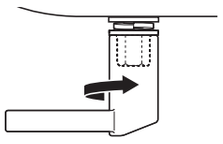
3. 機能部を便器に設置する。**【注意 3-2 参照】**



4. 機能部を固定する。
①固定ボルトにワッシャーとスプリングワッシャーを通し、六角ナットを取り付ける。
②手で仮締めする。**【注意 3-3 参照】**

③便座の先端を便器の先端に合わせる。

④同梱の工具で確実に取り付ける。
（締付トルク 2.0 ～ 2.5N · m {20 ～ 25kgf · cm}）



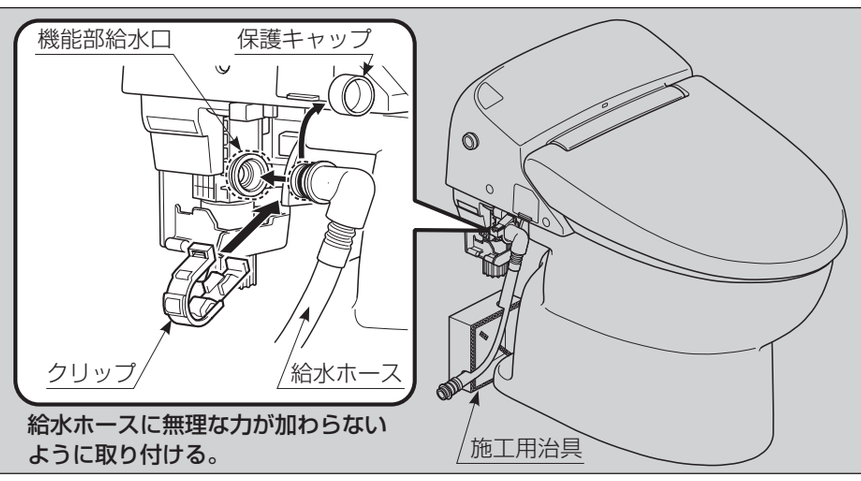
【注意 3-1】
- **プレート（金属製）は外さない。**
※漏水の原因になります。

【注意 3-2】
- **本体がしっかり便器と密着していることを確認する。**
- **便器および機能部の洗浄水口部（保護キャップでカバーしていた部分）にゴミなどの付着がないことを確認する。**
※漏水の原因になります。

【注意 3-3】
- **六角ナットは片利きにならないよう、左右交互に少しずつ締め付ける。**
※漏水の原因になります。

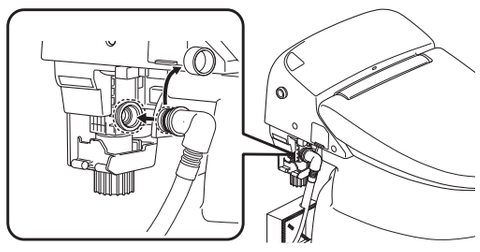
4 給水ホースの取付け〈機能部側〉

取付図

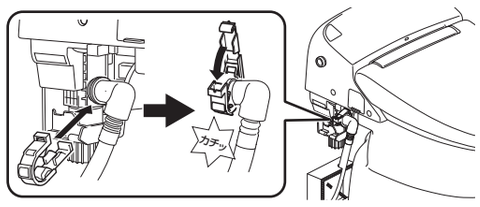


給水ホースに無理な力が加わらないように取り付ける。

1. 給水ホースを機能部側に取り付ける。
①機能部給水口と給水ホースから保護キャップを外す。
②本体給水ホースを差し込む。
【注意 4-1 参照】【注意 4-2 参照】

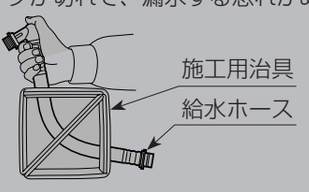


③クリップで固定する。**【注意 4-3 参照】**
【注意 4-4 参照】【参考 4-1 参照】
- クリップは図の向きでないと取り付けられません。**【注意 4-5 参照】**



【参考 4-1】
- **クリップを外す際は、下方向に押すようにして外す。**

【注意 4-1】
- **給水ホースは施工用治具を取り付けた状態のまま機能部側へ取り付ける。**
※O リングが切れて、漏水する恐れがあります。



- **給水ホース止水栓側のキャップは、止水栓と接続する直前に外す。**
※施工中に給水ホース内へゴミなどが入り、止水不良となる恐れがあります。

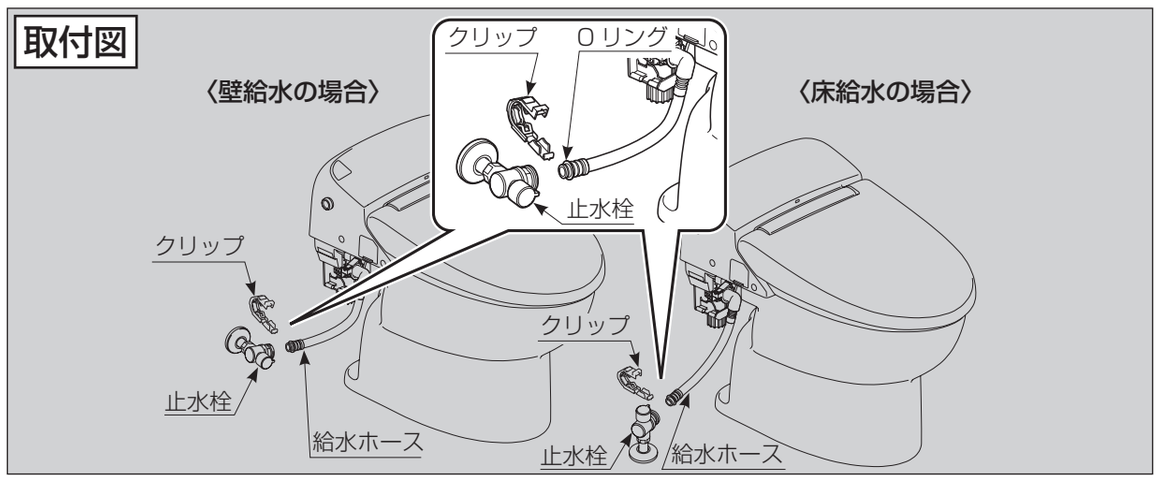
【注意 4-2】
- **給水ホース先端の金具部は回転規制があり 3 回以上は回転しないので、金具部が左右に回転できる状態で施工をする。**

【注意 4-3】
- **O リングをキズつけないように注意する。**
※O リングが切れたりキズがついたりすると漏水します。
- **クリップは確実にはめ込む。**

【注意 4-4】
- **クリップの先端が「カチッ」と音がするまで確実にはめ込む。**
※漏水の原因になります。

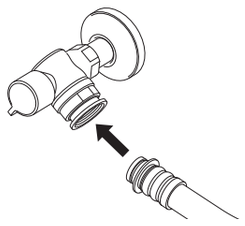
【注意 4-5】
- **クリップは本体の横から確実に差し込む。**
※斜めから差し込むと、クリップを折り曲げて固定することができません。

5 給水ホースの取付け〈止水栓側〉

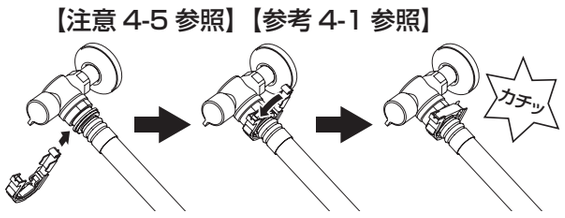


1. 給水ホースを止水栓側に取り付ける。

①施工用治具を外す。
②保護キャップを外す。
③本体給水ホースを差し込む。
【注意 5-1 参照】【注意 5-2 参照】

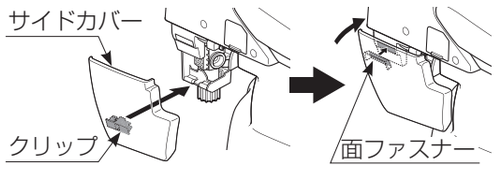


④クリップで固定する。
【注意 4-3 参照】【注意 4-4 参照】
【注意 4-5 参照】【参考 4-1 参照】



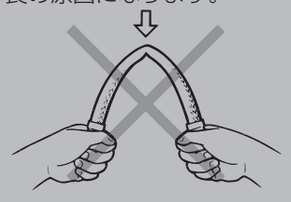
2. サイドカバーを取り付ける。
【注意 5-3 参照】

①サイドカバー側のクリップを本体のクリップ受けにはめ込む。
②サイドカバー上部分の面ファスナーを取り付ける。
・ 面ファスナーはしっかりと固定する。



【注意 5-1】

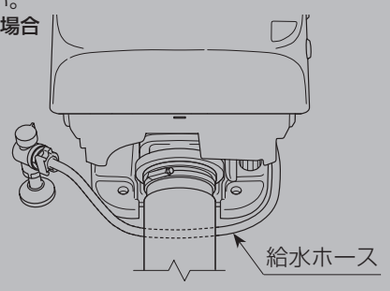
- **給水ホースは鋭角に曲げたり、引っ張られている状態にしない。**
  また、一度折れたホースは使用しない。
  ※破損して漏水する恐れがあります。
  ※洗浄不良の原因になります。



【注意 5-2】

- **床上排水で右給水の場合は、給水ホースを排水管の下を通して止水栓に接続する。**
  ※右給水の場合は、給水ホースは別売品の給水ホース (620mm):A-8376-62 を使用してください。

右給水の場合



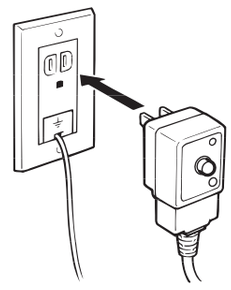
【注意 5-3】

- **サイドカバーを取り付けるときに、叩いたりしないように注意する。**
  ※クリップが折れたり、曲がったりして、取り付けができなくなる恐れがあります。

6 電源の接続 【注意 6-1 参照】【注意 6-2 参照】

1. 電源プラグをコンセントに差し込む。

①アース線を接続する。
②電源プラグを差し込む。



2. 電源が入っていることを確認する。

本体表示部の電源ランプが点灯していることを確認してください。

⚠ 警告

アース接続

確実にアース線をアースターミナルに接続する。
※ 接続しなかったり、不適切な接続状態では、感電・火災の原因になります。
※ コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。

【注意 6-1】

- **電源プラグに衝撃をかけたり、便器内に水没させないように注意する。**

【注意 6-2】

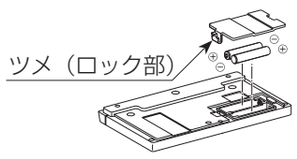
- **必ず施工が終了してから電源を入れる。**

7 リモコンの位置決め・取付け

本書では壁リモコンについて説明しています。壁リモコン以外の施工方法については、リモコンに同梱されている施工説明書をご覧ください。

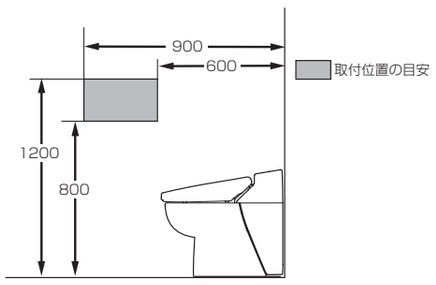
1. ホルダーを外し、付属の電池(単三形２本)を入れる。【注意 7-1 参照】

・裏フタが開けにくい場合は、マイナスドライバーなどの工具でツメ（ロック部）を押さえて外してください。



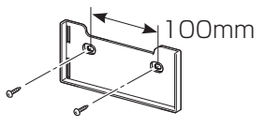
2. リモコンの取付位置を確認する。
【注意 7-2 参照】【注意 7-3 参照】

①リモコンを取り付ける位置に仮置きする。
②便座に座って止スイッチを押す。
③便器前に立ち、もう一度止スイッチを押す。
・ 本体表示部の電源ランプが 2 回点滅する（受信正常）ことを確認します。

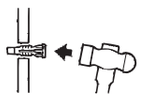


3. ホルダーを取り付ける。

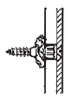
＜厚みが 5mm 以上の合板壁の場合＞
付属の木ねじで固定する。



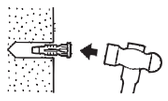
＜厚みが 5mm 以下の合板壁および石膏ボードの場合＞
①壁に下穴をあける。（合板壁：φ 6mm、石膏ボード：φ 5mm）
②プラスチックアンカーを軽く打ち込む。



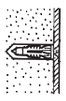
③ホルダーを木ねじで固定する。
・ 締め付けていくと、初めは堅く、いったん緩くなり再び堅くなります。



＜コンクリート壁の場合＞
①壁に下穴をあける。(φ 6mm、深さ約 33mm)
②プラスチックアンカーを軽く打ち込む。

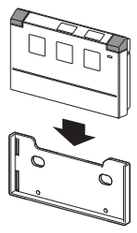


③ホルダーを木ねじで固定する。



4. リモコンを取り付ける。

リモコンをホルダーへセットする。
※リモコンに保護フィルム（透明）が貼られている場合は、はがしてください。



【注意 7-1】

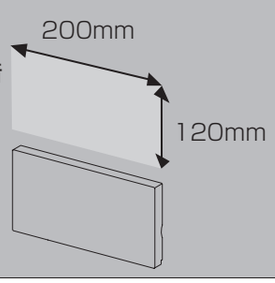
- **電池のプラスとマイナスの向きを間違えないように入れる。**
- **電池は、新しいものと古いものを混ぜて使用しない。**
- **同梱の電池を使用する。**

【注意 7-2】

- **併設されたシャワートイレが誤作動を起こす場合は、15 ページの手順で信号を変更する。**

【注意 7-3】

- **リモコン取付位置の上方に、リモコン脱着に必要なスペース（右図参照）があることを確認する。**

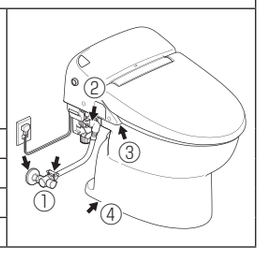


8 試運転（施工が終わったら、次の要領で試運転を行います。）

施工に起因する不具合を防止するために、**施工・試運転終了後**、再度以下内容のチェックを必ず実施し、確認欄にチェック（√）を記入してください。
施工が不十分ですと**漏水、 作動不良などの原因**となります。

●水漏れ箇所はありませんか？

1. 止水栓を全開にする。
2. 電源プラグをコンセントに差し込む。

	チェック欄	確認内容	
漏水確認		漏水していませんか？ ※ 便器洗浄を数回行ってください。 （給排水接続部は数回繰り返して水を流さないと、確認が困難な場合があります。）	
	□	① 止水栓部および給水ホースとの接続部	
	□	② 本体と給水ホースとの接続部	
	□	③ 本体と便器の接続部	
	□	④ 便器と床との接続部	

●おしり・ビデ洗浄は正常ですか？

【注意 8-1 参照】【注意 8-2 参照】

1. 着座センサーを白っぽい紙や布で覆う。

確認機能	チェック欄	確認内容	
おしりノズル	□	1. ノズルから適温の温水が出ますか？ ①【おしり】を押します。 ② シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。	おしり
	□	2.【止】を押すと温水が止まりますか？	
ビデノズル	□	1. ノズルから適温の温水が出ますか？ ①【ビデ】を押します。 ② シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。	ビデ
	□	2.【止】を押すと、温水が止まりますか？	

2. 着座センサーを覆っている紙や布を外す。

●便器洗浄は正常ですか？

確認機能	チェック欄	確認内容
洗浄確認	□	便鉢内に長さ 760mm のトイレットペーパーを丸めたもの 7 個を入れ、1 回の洗浄で流れますか？ ※ もし 1 回の洗浄で流れない場合は、下記の項目を確認してください。 ・ストレーナーにゴミや詰まりはないか？ ・止水栓を全開にしたか？ ・給水ホースは折れていないか？ ・水圧は適正か？

【注意 8-1】

- **インバータ照明・電球型蛍光灯の下でリモコンを使用した場合、トイレの環境条件によりシャワートイレが作動しないことがあるので、照明を消して動作を確認する。**

【注意 8-2】

- **着座センサーがあるため、おしり洗浄・ビデ洗浄は着座しないと作動しない。**

快適機能の設定はしないでください！

■快適機能の設定はお客さまにおまかせください。

シャワートイレの快適機能は、お客さまの好みで設定する必要があります。もし、施工業者さまで設定する場合は、お客さまに設定した機能とその機能説明をお願いいたします。
特に**節電機能**は、お客さまが意識していないと、便座や温水が冷たく感じる場合があります。

快適機能とは
お客さまにシャワートイレを快適にご使用いただくため、次のような機能が備わっています。
●便座・温水の温度*　●脱臭機能　●節電機能
●便座ヒーターオート OFF
＊：試運転確認後、必ず「低」に戻してください。
※機種によっては、一部機能がない場合があります。

施工業者さまへ

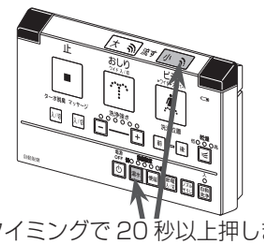
お客さまに必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。
保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客さまにお渡しください。
なお、保証書･所有者登録のお願いは、製品本体に貼り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。
※ 所有者登録の際、便フタ裏または製品本体に貼ってあるシールが必要となります。決してはがさないでください。
※ 定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

以下の場合でも、ECO5 節水便器（大洗浄 5L、小洗浄 3.8L）は、下記手順で大洗浄 8L（小洗浄 6L）仕様としてお使いいただけます。

● 自治体によって洗浄水量の規制がある場合

【壁リモコンの場合】

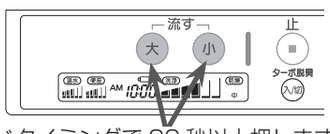
(1)「温水温度」スイッチと流す「小」スイッチを同じタイミングで 20 秒以上押す。



同じタイミングで 20 秒以上押します。

【インテリアリモコンの場合】

(1) 流す「大」スイッチと流す「小」スイッチを同じタイミングで 20 秒以上押す。

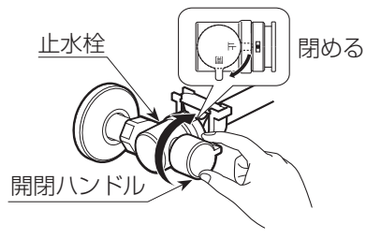


同じタイミングで 20 秒以上押します。

(2) 便器鉢内に長さ 760mm のトイレットペーパーを丸めたもの 7 個を入れ、これが 1 回の洗浄で排出できることを確認する。

水の出方が悪い場合は、ストレーナーを掃除してください。

(1) 止水栓を閉めて、給水を止める。
【注意 9-1 参照】

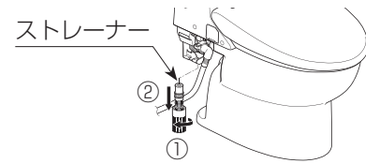


(2) 本体の洗浄ボタンを押す。
※20 秒程度時間をあけてください。
※内部にたまっている水と圧力を抜きます。

(3) 電源プラグをコンセントから抜く。

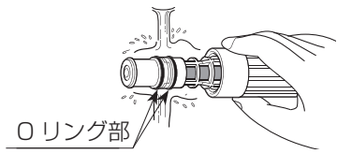
(4) サイドカバーを取り外す。

(5) 布などを下に置いてから、本体向かって左側面のストレーナーを外す。(①：時計回りに回し、②：下に引き抜く)



(6) ストレーナー部や O リング部に付いているゴミを水洗いして完全に取り除く。

(7) ストレーナーをしっかり締め付ける。
【注意 9-2 参照】



(8) サイドカバーを取り付ける。

(9) 電源プラグをコンセントに差し込む。

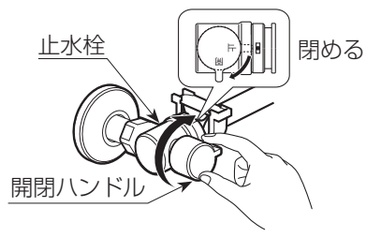
(10) 止水栓を全開にする。
※ストレーナーを洗っても水の出方が悪い場合は、給水圧を点検します。

【注意 9-1】
● 止水栓を開けたままストレーナーを外さない。
※ストレーナー部から漏水します。

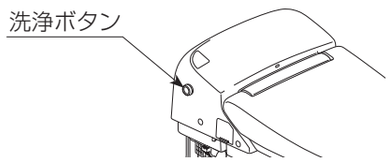
【注意 9-2】
● ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締める。
※確実に締めないとストレーナー部から漏水します。

お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は、水を抜いておいてください。

(1) 止水栓を閉めて、給水を止める。
【注意 9-1 参照】



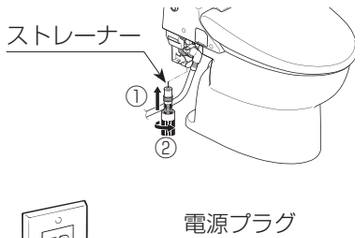
(2) 本体の洗浄ボタンを押す。
※20 秒程度時間をあけてください。
※内部にたまっている水と圧力を抜きます。



(3) 洗面器などを下に置き、本体向かって右側面の温水タンク水抜栓を外して温水タンク内の水を抜く。
※マイナスドライバーを使って、水抜栓を反時計回りに 90˚ 回して確実に外してください。
※最初、タンク内の水は横に飛び散るので、壁をぬらさないでください。

(4) サイドカバーを取り外す。

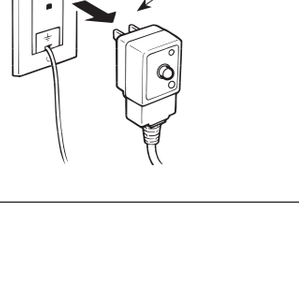
(5) 布などを下に置いてから、本体向かって左側面のストレーナーを外して、本体から水を抜く。



(6) クリップを外し、給水ホースを取り外す。

(7) 給水ホース内の水を完全に抜く。

(8) ストレーナー部や O リング部についているゴミを水洗いして完全に取り除く。



(9) ストレーナーをしっかり締め付ける。

(10) サイドカバーを取り付ける。

(11) 止水栓部から水漏れしていないか確認し、電源プラグをコンセントから抜く。

併設されたシャワートイレの誤作動を防ぐために

シャワートイレを併設する場合は、他ブースのシャワートイレも反応し誤作動を起こす恐れがあります。
このような場合は、お買い上げのリモコンを使い信号変更ができます。リモコンの発信信号とシャワートイレ本体の受信信号を共に変更してください。

本書では壁リモコンについて説明しています。壁リモコン以外の発信信号の変更については、各リモコンに同梱されている施工説明書をご覧ください。

1. リモコンの発信信号の変更

(1) リモコンの電池を外す。

(2) 下図の信号表に応じたスイッチを押し続けながら電池を取り付け、そのまま 6 秒保持する。
（【おしり】、【ビデ】の場合は 20 秒保持）

(3) 発信信号が変更された時、リモコンの電池マークが点滅する。
（変更された信号により、点滅回数は異なります。）

信号番号	操作スイッチ	電池マーク点滅回数
信号 1	温水温度	1 回点滅
信号 2	便座温度	2 回点滅
信号 3	節電入 / 切	3 回点滅
信号 0	ノズルそうじ	4 回点滅
信号 4	洗浄強さ [−]	5 回点滅
信号 5	洗浄強さ [＋]	6 回点滅
信号 6	おしり	7 回点滅
信号 7	ビデ	8 回点滅

※お買い上げ時、「信号 0」となっています。

2. 本体の受信信号の変更

(1) 変更する機器の電源プラグを抜く。**【注意 9-3 参照】**

(2) 再度、電源プラグを差し込んでから、10 秒以内に「止」スイッチを 10 回以上連続で押す。

【注意 9-3】
● この作業は、屋内（設備）のブレーカーで電源の入 / 切を行わない。
※同時に複数機の電源を入れると、他機の受信信号も変更される恐れがあります。

PCW-1289B(13090)